

平成25年度 岡山県文化振興審議会 次第

日時：平成26年2月7日（金）

15時～

場所：ルネスホール

芸術・文化ワークルーム

1 開 会

2 会長及び副会長の選任

3 議 題

○おかやま文化振興ビジョンの進捗状況について

- ・ 成果指標
- ・ アート・ブリッジおかやま形成事業
- ・ 地域と人を文化でつなぐキーパーソン育成事業

○晴れの国おかやま生き生きプランについて

4 閉 会

岡山県文化振興審議会委員

任期：H26.2.1～H28.1.31

氏名	役職名
あさの あつこ	作家
赤木 里香子	岡山大学大学院教育学研究科准教授
臼井 洋輔	元吉備国際大学文化財学部教授
大原 謙一郎	公益財団法人大原美術館理事長
神崎 宣武	民俗学者
越宗 孝昌	山陽新聞社代表取締役社長
小竹 石雲	岡山県書道連盟会長代行
佐々木 英代	岡山県演奏家協会会長
杉山 知子	美作大学生活科学部教授
田野 智子	NPO法人ハート・アート・おかやま代表理事

敬称略 50音順

平成25年度 岡山県文化振興審議会

配 付 資 料

1	岡山県文化振興審議会規則	1
2	文化振興ビジョンにおける成果指標の実績	3
3	アート・ブリッジおかやま形成事業 「廻遊ー海から山からー」開催実績について	8
4	平成26年度重点事業調書（文化振興課関係）	10
5	美作国建国1300年記念事業の 実施状況（文化振興課関係）	12
6	晴れの国おかやま生き生きプラン（文化関係抜粋）	13

岡山県文化振興審議会規則

平成十八年三月二十四日
岡山県規則第五十一号

(趣旨)

第一条 この規則は、岡山県附属機関条例(昭和二十七年岡山県条例第九十二号)第四条の規定により、岡山県文化振興審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第二条 審議会は、次の事項を所掌する。

- 一 岡山県文化振興基本条例(平成十八年岡山県条例第十五号。以下「文化振興基本条例」という。)第八条の規定により知事から諮問された事項に関する調査審議及び意見の具申
- 二 その他文化振興基本条例の施行に関する意見の具申

(組織)

第三条 審議会は、委員二十名以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから知事が任命する。

(委員の任期)

第四条 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、任期満了後であっても、新たに委員が任命されるまでは、その職務を行うものとする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第五条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第六条 審議会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門部会)

第七条 審議会は、その所掌事項の一部を分掌させるため、専門部会を置くことができる。

(委員以外の者の意見の陳述)

第八条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に審議会の会議に出席して意見を述べさせ、又は説明させることができる。

(庶務)

第九条 審議会の庶務は、環境文化部文化振興課において処理する。

(その他)

第十条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成十八年四月一日から施行する。

附 則(平成二二年規則第二七号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成二十二年四月一日から施行する。

文化振興ビジョンにおける成果指標の実績

1 文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山

(1) 子ども・若者が文化に触れる機会の充実

指 標 名	H23年度	H24年度	H25年度 (12月末現在)	目標値 (H29年度)
学校行事で県立美術館を訪れた人数	4014人	5,848人	2,887人	4,400人
<small>(説明) 授業や部活動などの学校行事で県立美術館を訪れた人数</small>				
ワークショップ参加者数	1,028人	2,632人	1,578人	1,000人
<small>(説明) 県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホールが開催したワークショップに参加した人数</small>				
アウトリーチ活動実施回数	37回	45回	25回	30回
<small>(説明) 県立美術館、県立博物館、ルネスホールが実施したアウトリーチ活動の回数</small>				

(2) 文化を担う人材や団体の育成・活用

指 標 名	H23年度	H24年度	H25年度 (12月末現在)	目標値 (H29年度)
あっ晴れ！子どもみらい塾講師派遣回数	374回	341回	387回 (年度末見込)	380回
<small>(説明) 岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数</small>				
文化関係各種助成金の採択件数	22件	21件	37件	25件
<small>(説明) 文化庁、日本芸術文化振興会、地域創造等の団体が募集した助成金事業に採択された件数</small>				
文化施設担当者研修会への参加者数	143人	164人	106人	150人
<small>(説明) 岡山県博物館協議会主催の研修会へ参加した人数</small>				
岡山県美術展覧会への応募点数	3,272点	3,384点	3,450点	3,500点
<small>(説明) 岡山県美術展覧会へ一般応募された作品(日本画、洋画、工芸、書道、写真、彫刻、デザイン)の点数</small>				
岡山県文学選奨への応募作品数	539件	392件	390件	500件
<small>(説明) 岡山県文学選奨に応募のあった作品(小説、随筆、現代詩、短歌、俳句、川柳、童話)の数</small>				

(3) 参加し、楽しみ、感動できる機会の充実

指 標 名	H23年度	H24年度	H25年度 (12月末現在)	目標値 (H29年度)
文化施設利用者数	531,106人	527,721人	370,773人	700,000人
(説明) 県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数				
県立美術館の講座等への参加者数	1,646人	3,439人	2,974人	2,500人
(説明) 県立美術館が実施する美術館講座、美術のタベ、講演会、フラワーレクチャー等への参加者数				
優れた芸術を鑑賞した学校数	85校	179校	(年度末把握)	475校(H23年度からの累計)
(説明) 県や国が実施するスクールコンサートや、青少年劇場、巡回公演事業等を開催した学校の累積数				
県民文化祭参加者数	252,914人	347,757人	(集計中)	350,000人
(説明) おかやま県民文化祭への総参加者数				
「おかやま文化の駅」ホームページアクセス数	27,742件	20,572件	10,457件	35,000件
(説明) 県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数				

2 文化の力で創り、拓く岡山

(1) 伝統文化の保存・継承・発展

指 標 名	H23年度	H24年度	H25年度 (12月末現在)	目標値 (H29年度)
日本伝統工芸展への応募点数	146点	130件	133件	150点
(説明) 日本伝統工芸展に県内在住者が応募した点数				
登録文化財の登録件数	251件	252件	252件	300件
(説明) 登録文化財の登録件数				
後楽園の入園者数	664,503人	661,175人	519,431人	765,000人
(説明) 後楽園の入園者数				

(2)文化の力による地域づくりの推進

指 標 名	H23年度	H24年度	H25年度 (12月末現在)	目標値 (H29年度)
おokayama県民文化祭地域フェスティバル参加者数	33,073人	90,280人	(集計中)	40,000人
(説明)おokayama県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)への参加者数				
地域の景観づくりに主体的に取り組む景観行政団体(市町村)数	6団体	6団体	7団体	10団体
(説明)景観計画の策定等、地域独自の景観形成施策を実施する景観行政団体(市町村)数				
地産地消協力店の登録店舗数	262店舗	288店舗	300店舗	290店舗
(説明)県産食材を積極的に提供する県内小売店や飲食店を「地産地消協力店」として県が登録した店舗数				

(3)文化を活かした産業の活性化

指 標 名	H23年度	H24年度	H25年度 (12月末現在)	目標値 (H29年度)
IT・コンテンツ人材育成研修への参加者数	36人	95人	(年度末把握)	40人
(説明)県の委託により実施したIT・コンテンツ人材育成関連の研修に参加した人数				
観光客入り込み数	2,337万人 (H23暦年)	2,373万人 (H24暦年)	(集計中) (H25暦年)	2,800万人
(説明)県内観光施設等への観光客入り込み数				

3 文化でつながり魅力を発信する岡山

(1) 連携・協働の推進

指 標 名	H23年度	H24年度	H25年度 (12月末現在)	目標値 (H29年度)
おかやま県民文化祭地域フェスティバル 実行委員会への参加団体数	34団体	43団体	29団体	40団体
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)の実行委員会に参加した団体数				
あつ晴れ！子どもみらい塾講師派遣回数	374回	341回	387回 (年度末見込)	380回 再掲
(説明)岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数				
おかやま県民文化祭参加事業数	125事業	120事業	112事業	150事業
(説明)おかやま県民文化祭参加事業として実施された事業数				
県立美術館ボランティア数	92人	81人	93人	85人
(説明)県立美術館に登録しているボランティア数				

(2) 文化交流の促進

指 標 名	H23年度	H24年度	H25年度 (12月末現在)	目標値 (H29年度)
国民文化祭への派遣団体数	22団体	18団体	7団体	20団体
(説明)国民文化祭への派遣団体数				
国際文化交流事業に参加した生徒数	—	162人	162人	900人 (24年度からの累計)
(説明)国際文化交流事業(韓国・中国)に参加した高校生の累積数				

(3)岡山からの文化発信

指 標 名	H23年度	H24年度	H25年度 (12月末現在)	目標値 (H29年度)
文化、スポーツ、自然などに誇りを持てる地域になっていると感じる人の割合	25.6%	32.5%	34.1%	55%
(説明)県民満足度調査で文化、スポーツ、自然などに誇りを持てる地域になっていると感じる人の割合				
「おかやま文化の駅」ホームページアクセス数	27,742件	20,572件	10,457件	35,000件 再掲
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数				
内田百閒文学賞への応募作品数	—	340件	—	350件 (H28年度) 隔年
(説明)内田百閒文学賞に応募のあった作品(随筆、短編小説)の数				
ラジオ番組による文化情報等の発信回数	—	26回	52回	100回 (24年度から の累計)
(説明)県内の文化情報を定期的なラジオ番組として情報発信した回数				

アート・ブリッジおかやま形成事業「廻遊-海から山から-」開催実績について

3人のアーティストの短期滞在制作（アーティスト・イン・レジデンス）を中心に、吉井川流域を中心とした8つのエリア（宇野、牛窓、備前、和気、赤磐、美作、津山、奈義）で開催されたアートイベントをつないで開催した「廻遊-海から山から-」の実績をとりまとめた。

1 会 期 平成25年9月6日（金）～12月25日（水）

2 実施事業数 73事業

3 来場者総数 64,172名

4 主な事業内容

（1）アーティスト・イン・レジデンス事業（19事業、来場者：4,675名）

① 黒田武志(造形作家・デザイナー) [9月上旬～11月上旬]

・滞在制作「記憶の灯台」（街角ミュージゼ牛窓文化館）

地域住民と協働で、地域の素材でインスタレーション作品の公開制作などを実施。

・作品展「箱になった粒子／時間の結晶」（瀬戸内市立美術館）

ボックスアートやオブジェなどの作品を展示。ワークショップやギャラリートークも実施。

② 本田孝義(映像作家) [9月上旬～11月下旬]

・「山陽西小学校ロック教室」ドキュメンタリー映像製作（赤磐市立山陽西小学校ほか）

児童が楽曲の作詞、作曲、演奏をするワークショップと発表会の模様をドキュメンタリー映像として製作し県内3カ所で上映。

③ 住中浩史(美術作家) [9月上旬～11月下旬]

・「海と山、つなぐ場のプロジェクト」（美作市上山、津山市衆楽園、玉野市宇野）

関係エリアを南北につなぐように、美作・津山では海の幸（魚）、宇野では山の幸（猪肉）を提供する「つなぐ行商」、美作市上山地区の棚田展望台のリノベーションなどを実施。



黒田武志「記憶の灯台」



本田孝義「山陽西小学校ロック教室」



住中浩史「つなぐ行商」

（2）エリアをつなぐ交流事業（4事業、来場者等：1,998名）

①アート in ガチャ(9/14(土)～12/25(水)、各地会場等：参加者 850名)

②リヤカー茶席(9/29(日)・10/5(土)・10/12(土)、津山・美作・赤磐：参加者 50名)

③スタンプラリー(9/6(金)～12/25(水)：応募者 45名)

④鷗尾再現プロジェクト(6月下旬～11/4(月)、寒風陶芸会館：来場者 1,053名)

(3) エリア事業 (50 事業、来場者 : 57,499 名)

エリア及び事業名		会 場	会 期	来場者数
宇野	南北楽観主義～山から／山への視線～	玉野市文化会館	11/11(月)～17(日)	120
	宇野狂言しおさとまつり		11/24(日)	120
牛窓	牛窓しおまちアート	牛窓しおまち唐琴通り	10/19(土)～20(日)	700
	—金子みすゞの世界を詠う—木版画の詩人 鈴木敦子展	瀬戸内市立美術館	9/6(金)～11/4(月)	2,265
	犬島時間展		10/22(火)～1/4(月)	600
	寒風陶芸まつり	寒風陶芸会館	11/2(土)～4(月)	717
備前	備前焼作家集団 けらもす Ver. 4.0	加子浦歴史文化館	10/16(水)～21(月)	57
	ハートの木プロジェクト	特別史跡旧閑谷学校	10/4(金)～11/4(月)	-
和気	「無作為の美—あたりまえのこと」堀尾貞治展	松本剛太郎アトリエ、café&artspace 風舎	10/17(木)～20(月) 10/25(金)～27(日) 11/1(木)～4(月)	210
赤磐	あかいわ ART RALLY 2013	赤磐市内史跡、文化施設等 20 カ所	10/12(土)～22(日)	21,053
美作	Mother Art Festival 2013	美作市湯郷・上山地区	10/5(土)～11/4(月)	14,829
	ガラスのクリスマス	美作市湯郷地区	12/7(土)～25(水)	4,300
津山	美づくりの里・旅するアート 2013	衆楽園・周辺エリア店舗等	9/28(土)～10/20(日)	9,138
奈義	第 20 回奈義 MOCA 観月会	奈義町現代美術館	9/21(土)	133
	「始源へ・交差する想像力」曾我英丘×秋山基夫×高原洋一		10/5(土)～11/10(日)	1,700
	三浦宏之ソロ・ダンスパフォーマンス		10/14(月)	42
	～MORPHOLOGY・遊図・PORTOGRAFHの世界～能勢伊勢雄展		11/16(土)～12/15(日)	1,515

5 広報の実績

新聞、テレビ、ラジオ等マスメディアのほか、タウン誌等への掲載、ホームページ、フェイスブック等を用いた広報を展開した。また、エリアの見所なども掲載したガイドブックを作成し配布した。

6 開催成果と今後の文化行政への展開

[成果]

- ・レジデンス事業や交流事業により、地域住民と関わりを持つ中で新しい取組が実現するなど、文化を核とした地域づくりに貢献。
- ・関係市町との連携により、事業を進める協力態勢を構築。
- ・サポートグループを組織し、文化芸術を支える広域のネットワークを形成。

[今後の展開]

- ・ネットワークの強化や情報提供など、本事業の成果を各市町が生かせる取組を支援。

重点事業調書

担当部局・課名	環境文化部・文化振興課														
改訂プラン	重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造													
	戦略プログラム	7 生きがい・元気づくり支援プログラム													
	施策	1 文化とスポーツを核とした地域の活性化													
重点事業の名称		文化を活用した地域の活性化													
終期設定(年度)	28	予算区分	一般	事項名	芸術文化活動費										
現状課題根拠	<p>〈現状・課題・事業実施根拠〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化を進めるには、交流人口の増加が必要であり、その有効な手段の一つとして、文化芸術を活用し、地域のイメージアップとにぎわい創出を促進する。 地域で発掘、育成した文化を活かして、集客力のある企画を行うなど、アートマネジメント力のあるキーパーソンが地域に育つことが必要。 本年度のアート・ブリッジおかやま形成事業「廻遊一海から山から」では、大きな集客効果やバスツアー・旅行商品化などの効果がみられることから、同様の効果を県内全域に広げるための素地づくりとして、人材育成が必要。 														
	<p>〈事業内容〉</p> <p>○文化を核とした地域の活性化 《14,392千円》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域と人を文化でつなぐキーパーソン育成事業 《6,194千円》 地域と人をつなぐキーパーソンの育成と人のネットワークづくりを促進する。 <ol style="list-style-type: none"> ①まちアートマネジメント講座 集客力や収益性のあるアートイベント等を展開するための企画力、コーディネート力、広報技術などのスキルを備えた人材を育成する。 ②フィールドワーク 演出可能な空間を活用して活性化を目指す地域を、地域の人を巻き込みながら活用方策を実証し、講座のフィールドワークとしても活用する。 ③成果発表報告会 フィールドワークの検証結果を公開報告する。 ● アート・ブリッジおかやま形成事業 《8,198千円》 空き家や空き教室等を活用し、県内外から招聘した作家の滞在制作を実施。制作過程の中で、地域住民や地域の作家等との交流活動を行うことで、文化を核とした地域づくりを促進する。→滞在作家の力を活用した取組 														
事業内容・進め方	<p>〈進め方(取組時期や実施主体・体制)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 講座及びフィールドワーク準備(4～5月)、講座開講(6～1月)、フィールドワークの実施(6～11月)、検証(12月)、成果発表報告会準備(1～2月)、成果発表報告会(3月) 														
	<p>〈事業の意図・効果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域活性化の取組の加速化 ● 自主性、継続性のある地域活性化の取組が各地域に根つき加速化する。 ○企画力やコーディネート力の底上げ ● 各地の活動が活発化することで、県全体の文化力がアップ。 ○地域住民の意識高揚 ● 地域の人を巻き込み、新たな文化資源を発見・育成することで、郷土愛の醸成につながる。 ○文化による地域づくり活動を行う人材のネットワーク拡大 ● 地域がつながることにより、面的広がり等効果が拡大。 ○交流人口の増加 ● 魅力ある企画が増加することで、地域のイメージアップと集客力がアップ。 														
事業の意図・効果等	<p>〈設定目標(数値等)〉</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">生き活き指標等</th> <th>現状</th> <th>平成26年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度までに</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新たな地域活性化事業数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>					生き活き指標等	現状	平成26年度	平成28年度	平成29年度までに	新たな地域活性化事業数	0	0	20	30
	生き活き指標等	現状	平成26年度	平成28年度	平成29年度までに										
新たな地域活性化事業数	0	0	20	30											
<p>〈コスト抑制のための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アートマネジメント講座受講者から受講料を徴収する。 															
事業費の見積もり	区 分	H25予算額	H26予算要求額	H27見込額	H28見込額	H29以降見込額									
	事業費(単位:千円)	8,530	14,392	14,392	6,194										
	財源内訳	一般財源	8,530	14,392	14,392	6,194									
	起債														
	その他特定財源														

文化を核とした地域の活性化

新

地域と人を文化でつなぐキーパーソン育成事業

①まちアートマネジメント講座

- ・企画力やコーディネート力、広報技術等のスキルアップ
- ・ネットワークの拡大

人のつながり⇒
地域のつながりへ

実習

②フィールドワーク (県内2カ所程度)

- ・演出可能な空間の活用
- ・活用方策の実証(展示等)

③成果発表報告会

- ・フィールドワークの検証(住民参加)
- ・講座受講者による企画・運営

地域の住民や作家の参画
↓
地域の意欲向上

継続・発展

マネジメント力を生かした事業の独自展開
目標:新たに地域で取り組まれる地域活性化事業:30事業(～H29)

効果的に
連携

アート・ブリッジおかやま形成事業(H25～)

県内外から招聘した
作家による滞在制作

交流

地域の住民・作家

- ・素材収集の支援
- ・制作の支援
- ・地域行事での交流
- ・創作意欲の向上
- ・鑑賞者との交流

「廻遊」をきっかけに、
牛窓で新たな取組も!



※実施状況

- 「廻遊—海から山から—」(25.9.6～12.25)
- ①吉井川流域を中心とした8エリア20の
アートイベントと連携
 - ②参加者数目標1万5千人を会期半ばに
超過

民間で「バスツアー」や
「宿泊パック」を企画



地域のイメージアップと集客力のアップ

文化を核とした地域の活性化

美作国建国1300年記念事業の実施状況（文化振興課関係）

○おかやま県民文化祭メインフェスティバル

日 時	平成25年9月22日(日) (アルネ津山4階は9/14~24)
場 所	ベルフォーレ津山、アルネ津山4階・東広場 等
参加者数	4,490人
内 容	美作国建国1300年を迎え、地域の歴史や文化に根ざした事業を実施した。 ・メインステージ 民謡、創作ダンス、くらしき作陽大学里帰りコンサートなど ・津山市文化連盟プログラム 華道展、俳句大会、パネル展など ・その他 FM岡山公開録音、みんなのステージなど

○おかやま県民文化祭地域フェスティバル

日 時	平成25年9月29日(日) ~ 10月22日(日)
場 所	衆楽園 (メイン会場)、美作大学 (サブ会場)、これら周辺地域
参加者数	9,500人
内 容	衆楽園内での現代アート展示 周辺店舗と地域の作家との協働による作品展示 大学生との協働によるワークショップやシンポジウムの開催 ほか

○第3回おかやま文化フォーラム

日 時	平成25年11月9日(土) 13時~16時
場 所	津山文化センター
参加者数	300人
内 容	基調講演：『美作国と律令国家』 東京大学大学院教授 佐藤 信 関連講話：『美作を語る「吉備と美作の記憶」 ~意識としての美作の誕生~』 津山郷土博物館館長 尾島 治 鼎 談：『美作国と古代吉備』 民俗学者 神崎宣武、佐藤 信、尾島 治

○県立美術館特別展「美作の美術展」

期 間	平成25年5月31日(金)~6月30日(日)
場 所	県立美術館2階展示室
入館者数	5,920人
内 容	美作国の歴史と文化・伝統を時間軸で展示した特別展 東京スカイツリー展示で話題の県重要文化財「江戸一目凶屏風」 をはじめ、宮本武蔵の水墨画や棟方志功の版画など美作ゆかりの 作品約150点を展示した。

晴れの国おかやま生き活きプラン（文化関係抜粋）

重点戦略Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造

7 生きがい・元気づくり支援プログラム

概要

生涯学習環境の整備や、県民が生きがいを持って活動する機会の拡大、文化・スポーツ活動の振興を通じ、豊かで潤いのある暮らしや活力のある地域を創造するとともに、男女ともに能力を発揮して活躍できる元気な社会の実現を目指します。

生き活き指標

- 県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」に満足又はやや満足と回答した者の割合 31.3% → 35.0%
- 県文化施設利用者数 527,721人／年 → 600,000人／年
県民の文化活動の拠点となる県文化施設（県立美術館等6施設）の利用者数

重点施策

■文化とスポーツを核とした地域の活性化

地域住民やまちづくりに取り組む団体、芸術家等との協働による文化の力を活用した地域づくりを推進するとともに、将来の地域文化の担い手を育成することにより、新たな創造活動の活性化と地域のにぎわい創出を促進します。

■文化創造活動の振興

県立美術館や天神山文化プラザ等の文化施設の利用促進や充実に努めるとともに、文化団体等の活動支援を行うことにより、県民の文化創造活動の振興を図ります。

8 情報発信力強化プログラム

概要

県民が岡山の素晴らしさを再認識し愛着と誇りを持って発信する取組を支援するとともに、県の総合的な情報発信力とセールス力を強化し、本県の知名度向上と岡山ブランドの確立を目指します。

推進施策

□岡山からの文化発信

文化情報サイト等さまざまなメディアの効果的な活用による、伝統ある地域文化や新たに創造された特色ある文化など多様な岡山文化の積極的な情報発信や、岡山ゆかりの文学作品を募集・表彰する内田百閒文学賞等の運営を通じて、文化を楽しみ、感動できる環境づくりを推進するとともに、郷土への愛着と誇りを高める取組を進めます。

